石狩　一連の処理の行程　１／４　　（令和３年４月～令和４年３月）

受け入れ

廃プラスチック類：　406.62 t
（前年度処理前保管量　1.65 t）
金属くず：　2,939.81 t
（前年度処理前保管量　5.58 t）
ガ陶くず：　25.17 t
廃電気機械類：　299.26 t
（前年度処理前保管量　0.12 t）
複合廃棄物：　1,486.52 t
（前年度処理前保管量　3.61 t）
廃乾電池：　0.32 t

→ 石狩支店
汚泥（廃乾電池に限る。）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の破砕施設
許可番号　当保衛第１００－５号

廃プラスチック類：　406.86 t
金属くず：　2,943.23 t
ガ陶くず：　25.17 t
廃電気機械類：　294.85 t
複合廃棄物：　1,487.23 t
廃乾電池：　0.32 t

合計処理量：　5,157.66 t

→

廃プラスチック類	→	中間処理後の廃棄物	：自社管理型埋立処分場	408.28 t
金属くず	→	再生後の有価物	：電炉メーカー・非鉄精錬へ売却	2,943.23 t
ガ陶くず	→	中間処理後の廃棄物	：自社管理型埋立処分場	26.04 t
廃電気機械類	→	中間処理後の廃棄物	：自社管理型埋立処分場	72.57 t
	→	再生後の有価物	：電炉メーカー・非鉄精錬へ売却	221.70 t
	→	中間処理後の廃棄物	：H社（中間処理　焼却）	0.54 t
複合廃棄物	→	中間処理後の廃棄物	：自社管理型埋立処分場	507.27 t
	→	再生後の有価物	：電炉メーカー・非鉄精錬へ売却	973.58 t
	→	中間処理後の廃棄物	：H社（中間処理　焼却）	2.87 t
廃乾電池	→	中間処理後の廃棄物	：自社管理型埋立処分場	0.32 t

廃蛍光管：　24.84 t
（前年度処理前保管量　0.45 t）

→ 石狩支店
金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
（廃蛍光管）の破砕施設
25.18 t

→

回収水銀の処理委託（野村興産株式会社）　：　0.00 t
金属くず、ガ陶くず（廃蛍光管）
→　中間処理後の廃棄物　：中間処理後の廃棄物：野村興産株式会社（焙焼）　24.65 t

廃プラスチック類
（廃タイヤ）：　55.31 t
（前年度処理前保管量　1.99 t）

→ タイヤ資源化工場
廃プラスチック類（廃タイヤ）の破砕施設
許可番号　石環生第５４９２号
57.27 t

→

廃プラスチック類
（廃タイヤ）　→　再生後の有価物　：道内製紙メーカーへボイラー燃料として売却　57.27 t

廃プラスチック類：　0.00 t

→ タイヤ資源化工場
廃プラスチック類の破砕施設
許可番号　石環生第２７５９号

→ 電炉メーカー・非製鉄製錬へ売却。残さは、自社管理型埋立処分

石狩　一連の処理の行程　２／４　　（令和３年４月～令和４年３月）

受け入れ

廃プラスチック類：　389.07 t
（前年度処理前保管量　8.27 t）

→ 廃プラスチック類の破砕施設
廃プラスチック類：　396.71 t

木くず：　336.00 t
（前年度処理前保管量　0.85 t）

→ 木くず、繊維くずの破砕施設
許可番号　石環生第２７２１号
木くず：　330.13 t

紙くず：　11.93 t

→ 紙くずの破砕施設
紙くず：　11.93 t

→ RPF（廃プラスチック類、紙くず、木くず）の製造施設×２基
廃プラスチック類：　396.71 t
木くず：　330.13 t
紙くず：　11.93 t
合計処理量：　738.77 t

→ RPF
→　再生後の有価物　：　道内製紙メーカーへボイラー燃料として売却　738.77 t

廃プラスチック類
（廃発泡スチロール）：
0.63 t

→ ＯＡ解体工場
廃プラスチック類（廃発泡スチロール）の破砕・溶融施設
0.63 t

→ 廃プラスチック類
（廃発泡スチロール）：　→　再生後の有価物　：　樹脂原料として売却　0.63 t

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器類）：
0 t
紙くず、金属くず（箔）　0 t

→ ＯＡ解体工場
廃プラスチック類、紙くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器類）の破砕・選別施設

→ ＯＡ機器類：　→　電炉メーカー・非鉄精錬へ売却。残さは、自社管理型埋立処分　0 t
紙くず：　→　自社RPF製造施設で原料として利用

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器・電子機器類）：
0 t

→ ＯＡ解体工場
廃プラスチック類、紙くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（ＯＡ機器・電子機器類）の破砕施設

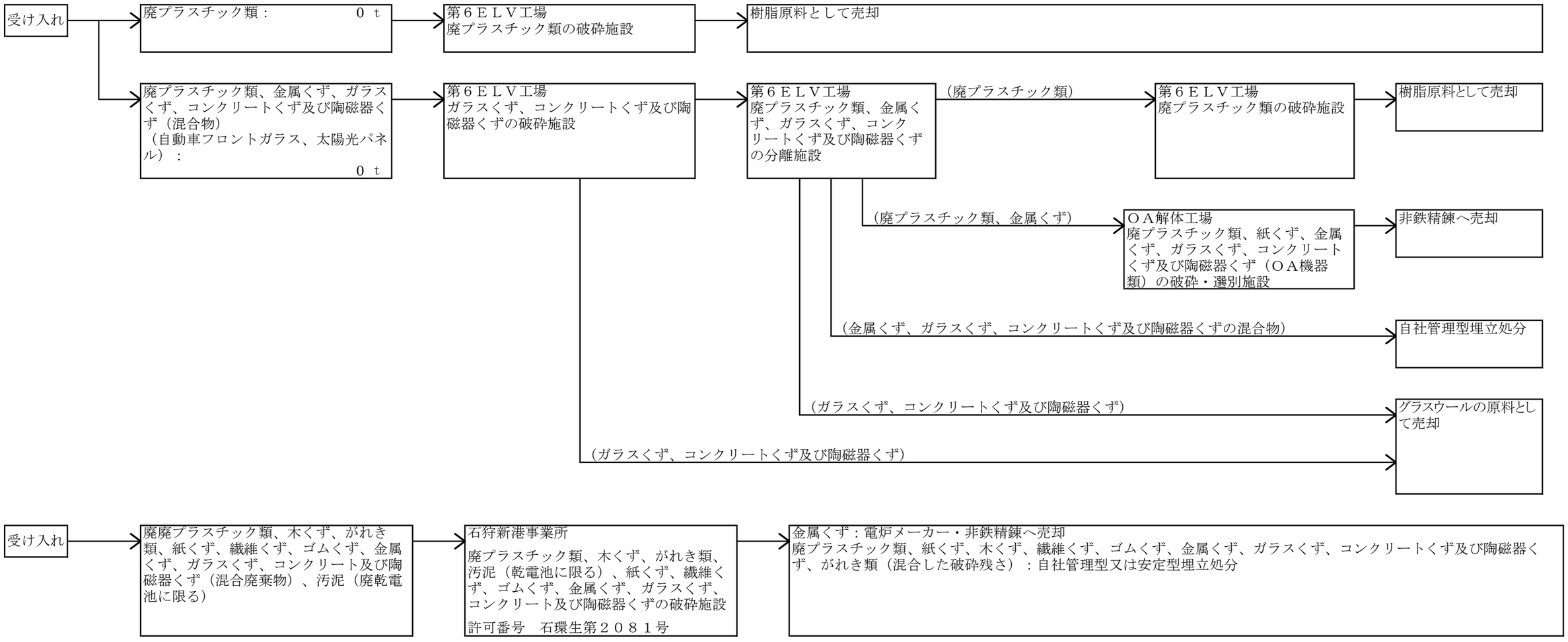
→ 廃プラスチック類（基板、筐体プラスチック類）：　基板は非鉄精錬へ売却。プラスチック類は自社RPF製造施設で原料として利用
金属くず　：　電炉メーカー・非鉄精錬へ売却
廃プラスチック類、紙くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（混合した破砕残さ）　：　自社管理型埋立処分

廃酸（廃定着液）：　0 t

→ 第２ＯＡ解体工場
廃酸（廃定着液）の銀の回収（電気分解）施設

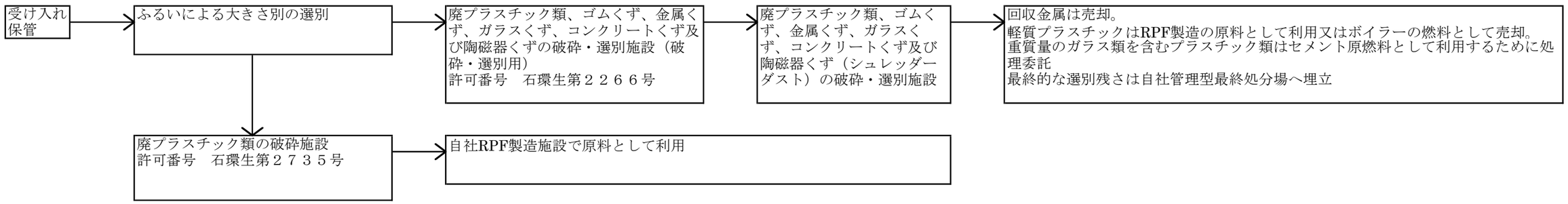
→ 回収した銀は売却。廃酸は他社へ処理委託

石狩　一連の処理の行程　３／４　　（令和３年４月～令和４年３月）



受入量：	5,975.48 ｔ

処理前保管量	18.47 ｔ
処理後保管量	9.67 ｔ

持出量：	5,977.72 ｔ

参考：ASR資源化工場　自動車破砕物残さ（ASR）処理工程